

製品名: HBP1 (リン酸化Ser402) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04757**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	58kDa

抗原情報

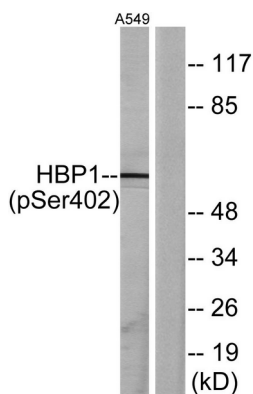
遺伝子名	HBP1
別名	HBP1; HMG box-containing protein 1; HMG box transcription factor 1; High mobility group box transcription factor 1
遺伝子 ID	26959.0
SwissProt ID	O60381
免疫原	抗血清は、ヒト HBP1 の Ser402 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 371-420

背景

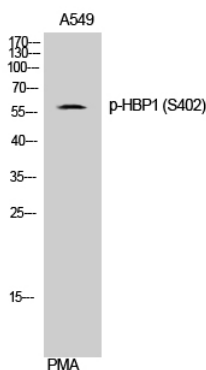
機能:標的遺伝子のプロモーター領域に結合する転写抑制因子。細胞周期および Wnt 経路の調節に役割を果たします。5'-TTCATTCATTCA-3'配列に優先的に結合します。H1F0 プロモーターへの結合は、RB1 との相互作用によって強化されます。DNA と TCF4 の相互作用を阻害します。類似性:1つの AXH ドメインを含みます。類似性:1つの HMG ボックス DNA 結合ドメインを含みます。サブユニット:SIN3A の 2 番目の PAH リピートに結合します (類似性による)。TCF4 および RB1 に結合します。機能:標的遺伝子のプロモーター領域に結合する転写抑制因子。細胞周期および Wnt 経路の調節に役割を果たします。5'-TTCATTCATTCA-3'配列に優先的に結合します。H1F0 プロモーターへの結合は、RB1 との相互作用によって強化されます。DNA と TCF4 の相互作用を阻害する。類似性:1つの AXH ドメインを含む。類似性:1つの HMG ボックス DNA 結合ドメインを含む。サブユニット:SIN3A の 2 番目の PAH リピートに結合する (類似性による)。TCF4 と RB1 に結合する。、

研究分野

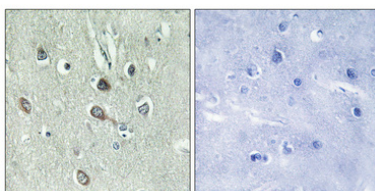
画像データ



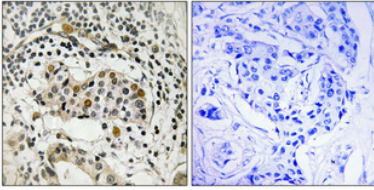
PMA 125 ng/ml 30 分処理した A549 細胞ライセートの HBP1 (リン酸化 Ser402) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



ホスホ HBP1 (S402) ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。